INDEX

協会について 1
会の役割 2
L対策とは 3
新PL対策解説書と イドライン P4
証事業 5
証プログラム 6
員について 7
員の活動 9
員の声 10
L検定のご案内 11
L検定 12
品安全の研究と 報発信元として P13
種プロジェクト 14

JTDNA®

製品の誤使用を予防し、製品事故の被害者を救済するのが製品安全社会。
これは企業と消費者の両者による努力と、正しいＰＬ対策で可能です。
そのインフラをつくり社会を元気にすることがこの協会の使命です。

特定非営利活動法人 日本テクニカルデザイナーズ協会

jtdna 検索

☎03-5875-6175 FAX：03-5875-6176
✉c-japan@jtdna.or.jp

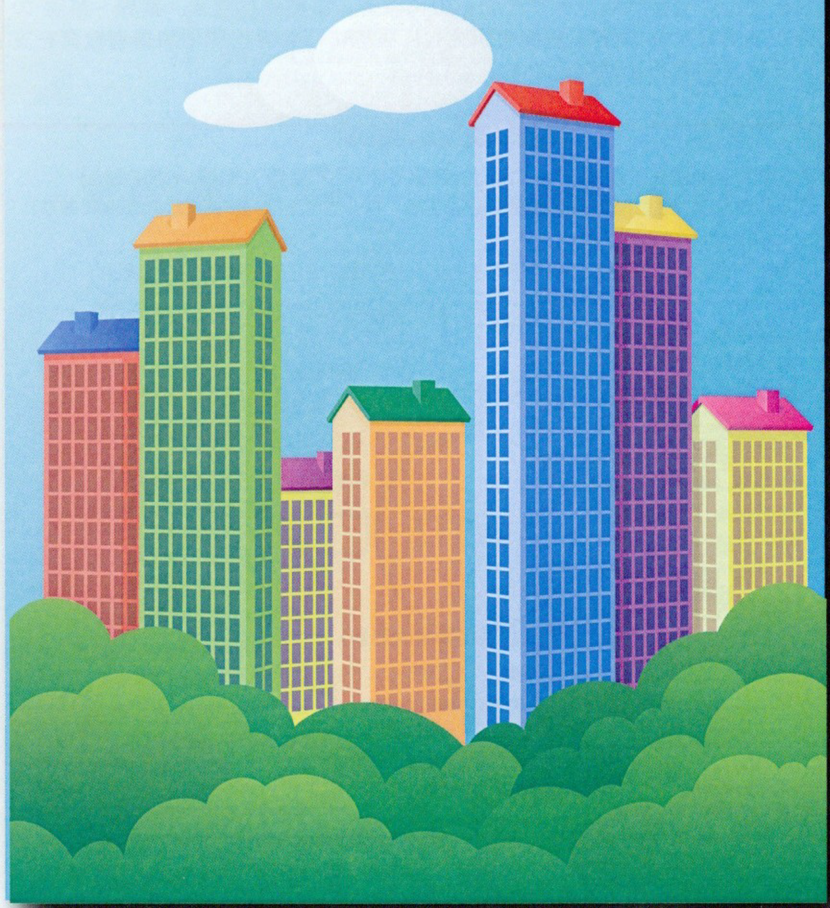
©PROCONSULTS2012.7.1JTDNA

JTDNA®

INDEX

当協会について P1
協会の役割 P2
PL対策とは P3
最新PL対策解説書と ガイドライン P4
認証事業 P5
検証プログラム P6
会員について P7
会員の活動 P9
会員の声 P10
PL検定のご案内 P11
PL検定 P12
製品安全の研究と 情報発信元として P13
各種プロジェクト P14

製品安全社会は消費者の自立と企業責任で実現します。



特定非営利活動法人

日本テクニカルデザイナーズ協会

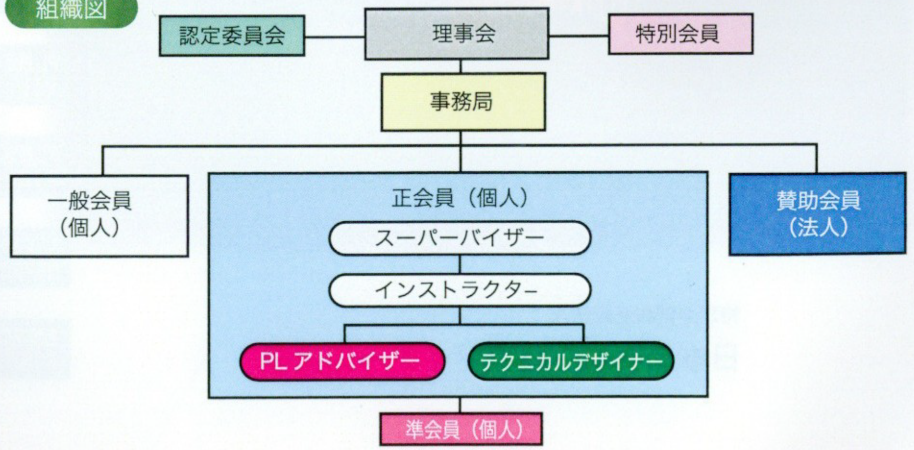
当協会について

製品安全の原点は「モノを作る人（技術者）」「モノを創造する時に使用者の事を第一に考え、正しく製品情報を伝えるデザイナー」「経営者」が正しいPL対策（後述）を理解し実践することです。そのためには「利益優先」ではなく「安全な製品を社会に提供する事業者の意識改革」と「製品を正しく消費する使用者側の自覚」が不可欠です。さらに情報社会では広告を作る、ネットショップを構築する、製品の正しい使い方を伝える、わかりやすい説明書を作成できるデザインスキルが欠かせません。当協会は「デザイナーの再教育」に重点を置き、業界・業態の枠を超えた消費者主体の PL 対策を研究し、実際に事業者指導や消費者教育を支援している特定非営利活動法人です。

法人概要

名称　特定非営利活動法人　日本テクニカルデザイナーズ協会（略称　JTDNA）
本　部：〒171-0021　東京都豊島区西池袋 3-22-5　パークスビル 2F（大阪にも支部あり）
✉　：c-japan@jtdna.or.jp
設立　2006 年 4 月
組織構成員
理事長　渡辺吉明（R&D スペシャリスト）
理　事　山岸義彦（会社社長）
理　事　田上哲也（会社社長）
理　事　渡辺欣洋（会社社長）
理　事　中澤幸雄（会社社長）
事務局長　秦優子（保険代理店）
監　事　野田泰永（税理士）
特別会員　窪千恵子（会社社長）
特別会員　佐藤聡（システムエンジニア）
特別会員　和田俊彦（元大学教授）
会　員　約 50,000 名（平成 24 年 3 月現在の推定累計）

組織図

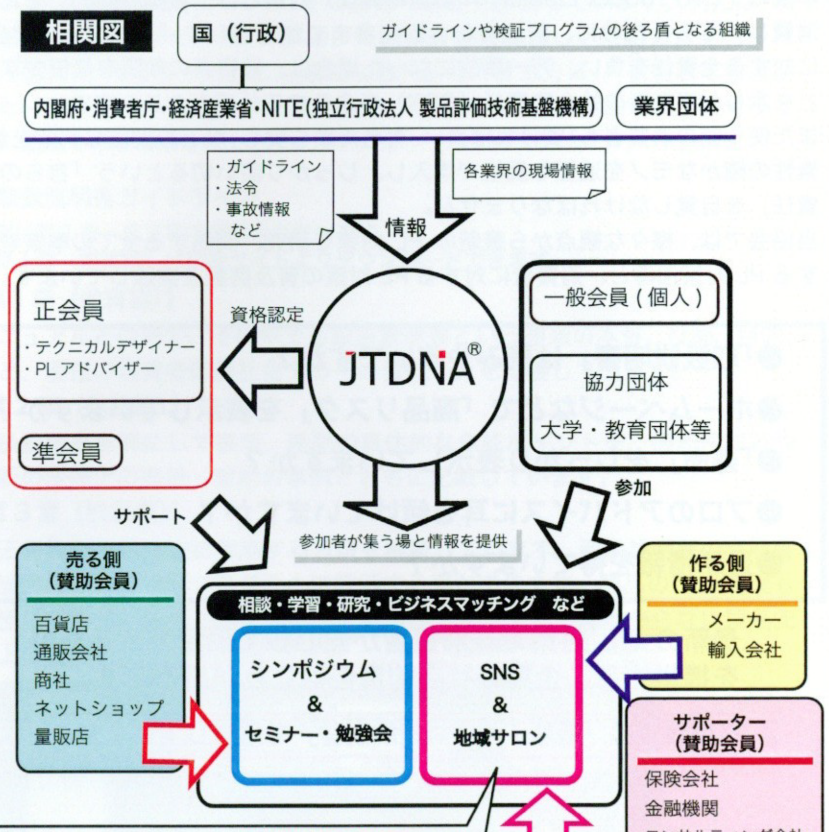


協会の役割

国や法律家に依存しない消費者視点の「PL（製造物責任）対策」の実現には、業界や会社などの枠を超えた経験豊かな方々や、想像力豊かな若い世代の方々の協業が欠かせません。エンジニアとデザイナーの役割を明確にし、各々が PL 対策を勉強し実務に反映させ、経営者や国などがそれを支援する仕組み作り、そのサポートがこの協会の最大の役割です。

- 取扱説明書のガイドライン策定
- それを利用した検証プログラムによる検証と評価
- 最新の PL 対策の研究と公表
- 製品情報などに関わる広告媒体などのコンプライアンス検証
- PL 対策やコンプライアンスなどの専従者教育
- 地域社会の IT 化支援など

相関図



協会では会員間の情報交換を安全・迅速に行う場として専用 SNS を運用しています。製品安全だけでなく日々の情報交換などにもご活用ください。

PL 対策とは

企業は様々な商品を生み出し、その商品を消費（購入）してもらう事で利益を生み、その糧で多くの人が生活しています。ところが利益優先の経営手法を良しとし、社員をモノ扱いしたり、騙してでも利益をむさぼるような悪質事業者が後を絶ちません。そのような事業者のために商品流通の効率や低価格が最優先され、丁寧にモノを作っている人たちが自らの製品情報を正しく伝えられなくなり、それが元で「誤使用による事故」が頻発、大きな社会問題になっています。

本来の PL（Product Liability = 製造物責任）対策とは、製品（商品）を正しく消費してもらうために、製造者から販売者までが連帯して「その製品の安全性」に対する全責任を負い、万一事故になった場合は、被害者の救済を最優先することを示し、事業者の社会的責任（CSR）を全うする仕組みのことです。
また使う側の消費者も「安ければ良い、有名だから安心」などの安直な判断をせず、素性の確かなモノを適正な価格で購入し、しっかり使い切るという「自らの選択責任」を自覚しなければなりません。
当協会では、様々な観点から最新の PL 対策を研究、関係する全ての事業者に対する PL 対策指導と、消費者に対する PL 対策の普及啓蒙を実践しています。

- **●「取扱説明書」は読みやすいですか？**
- **●ホームページなどで「商品リスク」を表示していますか？**
- **●「寿命」をしっかり表示していますか？**
- **●プロのアドバイスに耳を傾けていますか？**
- **●最新情報を得ていますか？**

最新の PL 対策で、消費者が安心して消費できるものを提供する、企業の社会的責任はこれが原点です。

※協会では「最新！ PL 対策解説書」を用意しています。

最新 PL 対策解説書とガイドライン

当協会では、各方面の専門家が集まり、最新の社会環境や法律などに合わせた「最新！ PL 対策解説書」を発行し、事業の基軸としています。
さらに、その中に記述されている PL 対策を効率良く短期間に全ての事業者に導入するための「最新！ PL 対策導入ガイド」をホームページに PDF データで公開しています。特に、誤使用などの事故を予防し、製品を正しく使用していただくための取扱説明書制作については、日本では唯一全ての製品に適合する「取扱説明書ガイドライン」を策定、出版しその基準としています。

■最新！ PL 対策解説書

司法中心の「PL 法対策」ではなく、全ての事業者が社会的責任として負っている【製造物責任】について、そのあるべき姿を解説しています。例えば「事故を予防するための対策」「事故が発生した場合の正しい対応方法を行うための準備」「消費者を考慮した適正な過失割合の算定方法」「被害者を救済するために求められる社会インフラ整備」などについて、当協会の事業骨子と共に説明しています。

■取扱説明書ガイドライン

本書は第１章～第３章で編纂されています。
※第１章（教育編）は協会サイトよりダウンロードできます。

【第１章（教育編）】
マニュアルとは何か、その中でも取扱説明書という書類の本質、役割、目的、など、現在の消費者保護社会でのその位置づけを定義しています。

【第２章（実務編）】
取扱説明書を例にして表示、表記の具体的な作成ポイントを、機能性などや最新の法律上の表示・表記の事例とともに記載しています。

【第３章（検証編）】
第三者検証を具体的に実施する方法を解説しています。取扱説明書の完成度を当協会独自の検証プログラムで評価する事ができます。製品の PL 環境も同様に客観的に評価することで、通常の品質検査などではわからない製品安全上の検証ができます。

協会より書籍出版しています。製造業、販売業、デザイン企画会社、印刷会社などの他、コンプライアンス教育などにご活用ください。

解説書　　　1 冊　800 円（税込）
ガイドライン 1 冊 3,800 円（税込）
A4 判

各種お申込みは協会へお問い合わせください

認証事業

当協会の重要な事業として、消費者視点による「第三者視点の検証」を実施し、証明書を発行（有料）しています。

この検証は、協会が認定する認定事業者がガイドラインに則り検証評価します。検証には認定事業者に所属する正会員が「検証プログラム」を使用し、コンプライアンス違反の有無や製品安全上の表示・表記などのチェックを公平な消費者視点で実施しています。この検証結果は 100 ポイントを上限に採点します。さらにレーダーチャートにより不備・不足の傾向や改善すべき点をわかりやすく示し、改善前後の検証状況を客観的に把握することができます。またこの検証は企業内の社員の資質向上、消費者保護政策下でのデザインや法務、経営品質向上にも有効活用することが可能です。

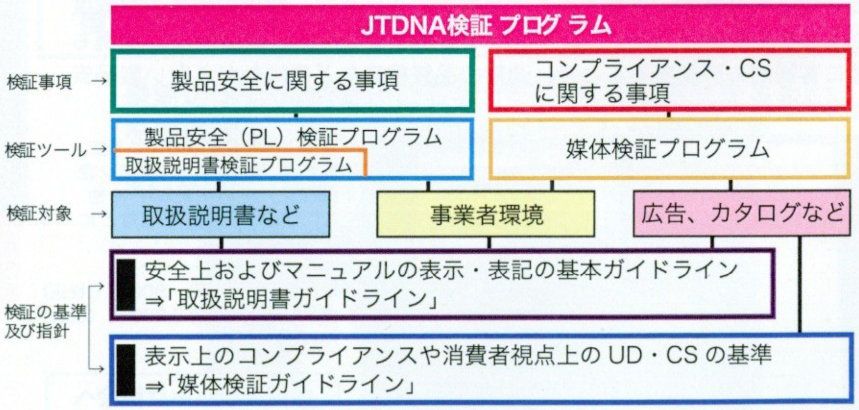
検証の証明書が必要な場合は、認定事業者が窓口になり有料で証明書の発行を行います。なお、検証結果について協会は検証作業に関与せず、所定の複眼チェックを元に第三者機関として公平に査定し証明書を発行します。

証明書見本

検証の対象

- **PL 環境検証**
- **取扱説明書検証**
- **媒体検証（広告物、カタログ、web サイトなど）**

【認証事業の構成】



検証プログラム

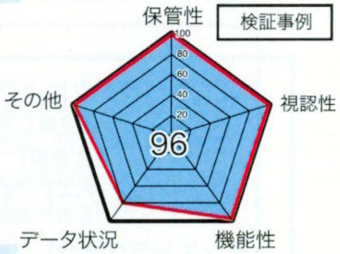
従来、デザインや形の見えない PL 環境等は「抽象的な評価」は得られても「具体的な機能性・実効性」などを評価する方法がありませんでした。また誤使用に影響する「正しい使用方法の表示」や企業の「CSR などの経営品質評価」もデザインとは無縁と思われていました。そこで当協会ではこれらを客観的に評価検証するプログラムを作成、評価方法を確立しました。（詳細は【取扱説明書ガイドライン第三章（検証編）】をご参照ください。）

PL 環境検証プログラム

表向きの商品（製品）情報からはわからない、製品事故（PL 事故）の予防対策（PLP）と、万一製品事故が起きた時に、その商品（製品）に関わる事業者の事故発生後対策（PLD）を評価します。概ね 50 ポイント以下では PL 事故などの問題を起こしやすく、事故発生時にも対応が遅くなります。一方、85 ポイント以上では社内の問題意識も高く、事故発生時にも迅速な対応が可能と判断できます。

取扱説明書検証プログラム

取扱説明書の内容、表示・表記方法などを当協会のガイドラインに照らし合わせて検証、内容を正しく消費者に伝えているか、取扱説明書としての機能を達成しているかなどを評価します。評価結果が 50 ポイント以下では誤使用などの問題を起こしやすく、85 ポイント以上では誤使用は減り、消費者からの好感も得られる事が実証されています。



取扱説明書検証や見直しのご相談

取扱説明書の検証および見直しについて、ご相談を受けています。
当協会の検証プログラムを使用した検証や見直しのご相談などは、当協会の認定委員会（※1）において認証された「認定事業者（※2）」でお受けしています。
※1　認定委員会：有識者や当協会の会員などで構成された委員会です。
※2　認定事業者：認定委員会にて認定された賛助会員です。

検証の申し込みはホームページから　jtdna 検証　検索

媒体検証プログラム

広告媒体（通信販売カタログ、ネットショップなど）のコンプライアンス上の検証、そこから予見できる掲載商品の違法表示を検証します。専用SNSを駆使し、秘守性高く、特定の担当者でリアルタイムに結果などを共有した消費者視点の検証と依頼者からの質問などに対応しています。検証する正会員は電気機械、家庭用雑貨、食品（健康食品も含む）、医療関連、衣料品などのスペシャリストです。既に大手通信販売事業者のカタログなど3年以上、年間約1万ページ、商品掲載点数10万点の検証を行っています。

会員について

当協会の会員は下記の通りです。
規定や申し込み、諸条件などはホームページをご参照ください。

会員の種類

■一般会員　■特別会員　■正会員　■準会員　■賛助会員

■一般会員（会費免除）
当協会の目的に賛同いただいた個人です。積極的に参加される方は SNS にご自身の判断で個人情報を表示してください。
その他、アンケートなどで当協会の事業に賛同いただいた方について一般会員としていますが、協会として個人情報は収集保管しません。

■特別会員（会費免除）
当協会の経営について、理事会に意見や助言のできる方で、無期限、会費免除の会員です。
※認定には理事推薦による理事会承認が必要です。

■正会員（ランクにより会費必要）
PL 検定後、正会員登録した個人で、下記の４種の資格があります。
（資格の内容は、P８参照）
【PL アドバイザー】　【テクニカルデザイナー】
【インストラクター】　【スーパーバイザー】

【準会員】
大学などの教育機関・団体、企業などを対象としたＰＬ検定３級で、検定試験合格者が準会員資格を得ることができます。PL 対策という大きなテーマの基礎知識を習得し、正会員資格へのステップアップを目指します。

■賛助会員（規模などに応じ会費必要）
当協会の事業を理解し、協会の PL 対策やコンプライアンスなどの情報や検証の活用、正会員、賛助会員などの交流、相互協力などに賛同した法人や団体です。

正会員に貸与される資格

当協会ではＰＬ検定にて「製品事故とは何か」「製品安全対策の要、取扱説明書を学ぶ」等を学び「協会が推進するＰＬ対策」の専門スキルを有した方として正会員に次の資格を貸与しています。
資格には、「ＰＬアドバイザー」「テクニカルデザイナー」があります。
また、その活動実績に基づき、「インストラクター」「スーパーバイザー」の資格が貸与されます。

【PL アドバイザー】
当協会の PL 対策を理解し、かつ企業に対しガイドラインに即した PL 事故予防策（PLP）/ PL 事故発生後対策（PLD）について、迅速に適切なアドバイスが行える人材に与えられる資格です。
※PL 検定２級合格者

【テクニカルデザイナー】
当協会の PL 対策を理解し、かつガイドラインに即した取扱説明書、広告やカタログ、web サイトなどのデザインスキルを反映、取扱説明書検証プログラム、媒体検証プログラムで８５ポイントの高品質な媒体制作ができるなど、消費者保護政策下の正しい表示／表記を実施できるデザイナーに与えられる資格です。
※PL 検定２級合格者

【インストラクター】
スーパーバイザーの援助のもと、セミナー、勉強会の講師を務めることができます。

【スーパーバイザー】
セミナー、勉強会の企画開催、講師を務め、地域の活動を統括し協会の活動に当たります。

※テクニカル web デザイナーはテクニカルデザイナー資格に組み込まれました。

jtdna 会員　検索

会員の活動（SNS のご紹介）

当協会では、対外的に公表する公式サイト（メインのホームページとセミナー、事務局のブログ式ホームページ）とは別に、国内、海外（日本語環境）の方々が日々の生業などに影響を与えず、負担を軽減しつつ公平に情報を共有したり、相談から提案、さらに会員間でより踏み込んだ具体的で即効性のある事業展開を図れるよう、秘守性を高めた独自の SNS（ソーシャルネットワーキングサービス）を運営しています。

SNS への申し込みは：

jtdna ご入会手続き 検索

SNS では個人、協会プロジェクト、理事会、会員同士のコミュニティ、媒体検証、会社や団体のバーチャルオフィスなど数百のコミュニティが運用されています。書き込みは設定により携帯メールなどへの自動送信も可能、メーリングリストではない「通信ネットワーク」も形成、セミナーや勉強会、会員間の交流会などにも活用されています。

会員の声

テクニカルデザイナー

2007 年末、ベルーナが販売した電動ベッドにおいて、幼児の誤使用による死亡事故が起きました。取扱説明書の制作を担当していた私は、「説明書から誤使用による事故を無くすことは出来ないか？」と考え、説明書制作の勉強をするために JTDNA の存在を知ったのが 2008 年。以降、毎月行われる製品安全セミナーに毎回出席し、そこで得た知識を広めることにより、自分だけでなく会社全体が製品安全への意識を高めることが出来ました。

埼玉県在住
染谷知孝様（通販会社勤務）

スーパーバイザー

私が PL 検定受験を検討されている皆さんにお伝えしたいのは、「PL 検定を受験することで、自らの意識を変えることができる」ということです。
「変えることができる」のであり、「変わるもの」ではありません。
自らが意識して変えようとしないと、意識と行動は変わりません。意識と行動を変えようとすると、視点が変わり、潜んでいるモンダイがあぶりだされます。
リスクを洗い出す作業でも、視点を変えることで潜んでいるリスクを表に出すことができるのです。
視点を変えることは、自らの意識と行動を変えることから始まります。
「誤使用事故を未然に防ぐこと」
これが、いま社会から求められています。
誤使用事故を防ぐためには視点を変えた危険の洗い出しが欠かせません。
PL 検定から始まる意識改革で、視点を変え、誤使用事故を未然に防ぎ、製品安全文化を社会に定着させていきましょう。

新潟県在住
小林孝夫様（保険代理店勤務）

PL 検定®のご案内

平成７年施行の消費者保護の法律「製造物責任（PL）法」以後、国は消費者保護政策に取り組み、「製品安全文化の醸成」を大きな柱として消費者庁に監督権をゆだね、事業者の監督、消費者への事故情報開示による事故再発防止を進めています。しかし、その対策に関する教育は個々の事業者等に委ねられ、「正しい PL 対策」に関する専門教育を受ける場はほとんどありませんでした。このような背景を受け、当協会ではこれからの時代を担う大学生や、現役社会人のコンプライアンス教育の一環として「PL 検定」を実施しています。

製品安全を達成するための専門職として

PL 対策という大きなテーマを短期間で習得いただく検定制度です。合格者を当協会の会員（正会員または準会員）として登録します。登録後はお申し出により証明書（有料）を発行、あなたのスキルを就職活動などの際に活用することも可能です。また、実務に反映したスキルアップを継続的に行える環境として、地域で開催される勉強会等が用意されています。

受検資格

・18 歳以上の方（20 歳未満の方は「保護者の承諾」が必要です。）
・経験は問いません。

仙台の東北工業大学で始まったデザインを学ぶ学生向けの講義風景。

申し込み手順

1. 当協会の「製品安全（ＰＬ対策）セミナー」の前節、後節の両方を受講します。

2. セミナー受講後、会場で前節、後節それぞれの受講確認印が押された「ＰＬ検定申込書」と「重要事項確認書」を受け取ります。

3. 二種の用紙に必要事項を記入の上、PL 検定事務局にＦＡＸします。
申込書は有効期限があり、年度を超えての受検はできません。

4. 協会専用ＳＮＳにご登録ください。２級受検の方は必須です。３級受検の方もできるだけご登録されることをお勧めします。登録申し込みは当協会サイトから行ってください。

セミナーは前節と後節の受講が必要です。前節と後節の受講日程が前後したり、それぞれ別の開催地での受講も有効です。開催日程は、下記のサイトでご確認ください。

jtdna セミナー　検索

検定は、東京、大阪、仙台、新潟他で開催しています。開催日予定は、PL検定サイトでご確認ください。

PL 検定　検索

検定コース・指定教材

【３級】
製品安全の要となる「PL」の考え方（「最新！ＰＬ対策解説書 2011」１Ｐ～１２Ｐ）や、デザイナーの重要性、製品事故を予防するための周辺知識などについて学ぶための入門コースです。合格後準会員に登録されます。

●検定費用　一般：10,000 円 (税込 10,500 円) 学生：5,000 円 (税込 5,250 円)
●指定教材　・製品安全（PL 対策）セミナーでの配布資料
・「最新！ PL 対策解説書」８００円（税込）
・「取扱説明書ガイドライン web 版」
（当協会サイトより無料でダウンロードできます）

【２級】
テクニカルデザイナー (TD) 資格コースと PL アドバイザー (PLA) 資格コースがあり、検定内容はその資格内容に合わせ設問しています。「取扱説明書ガイドライン 2011」および「最新！ＰＬ対策解説書」をより深く学びます。合格後、事務局からの所定の手続きにより正会員に登録されます。

●検定費用　50,000 円（税込 52,500 円）
準会員が、２級受検を希望する場合割引となります。35,000 円 (税込 36,750 円)
●指定教材　・製品安全（PL 対策）セミナーでの配布資料
・「最新！ PL 対策解説書」８００円（税込）
・「取扱説明書ガイドライン」3,８００円（税込）

【1 級】
正会員でインストラクターをめざす方が受検します。協会の「取扱説明書検証プログラム」「製品安全 (ＰＬ) 環境検証プログラム」の運用をはじめ、セミナー等で、講師を務めます。

●検定費用無し

教材のお求めは、セミナー会場、又は協会サイトより申込書をダウンロードして、FAX でお申し込みください。

事前学習

「PL 検定合格を目指す勉強会」コミュニティが用意されています。当協会ＳＮＳ内のコミュニティに練習問題を用意していますので、事前に学習してください。

表示・表記はデザイナーの仕事、
製品事故予防や事故発生後対策は PL 対策の専門家に！
web デザインにも法的知識は必須です。

※公益団体（法人、学校などを含む）からのお申し込みには割引を適用します。
※身体に障害がある方については、諸条件を確認の上、30～50%の割引を適用します。
（詳しくは事務局までお問い合わせください。）

製品安全の研究と情報発信元として

1. シンポジウム

２０１１年度より、各界のご協力をいただき、シンポジウムを開催し、製品安全文化の醸成の取り組みや、誤使用による製品事故防止の取り組みについて情報を発信しています。

2. セミナー

当協会のＰＬ対策の基本的な考え方を解説いたします。また、製品安全の取り組みの最新情報等もお届けしたいと考えています。東京、大阪、仙台、新潟等で開催し、２０１０年度から、独立行政法人製品評価技術基盤機構様、消費者庁様より後援名義の承認をいただいております。

3. 勉強会

会員向けの勉強会です。継続した学習や、突き詰めた問題を解決するために、各地のスーパーバイザーの管理のもと開催しています。

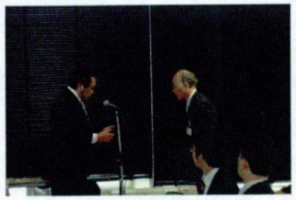
4. トリセツ制作講座

会員の皆さまより要望のあった、協会の検証プログラムにて８５ポイント以上の評価を得られるためのテクニックを身に着けていただくトリセツ制作講座です。当協会で発行している「取扱説明書ガイドライン」に則った消費者視点の取扱説明書を制作するための有料講座です。
詳細とお申込みは、ホームページをご参照ください。

jtdna トリセツ制作講座 検索

賛助会員表彰制度

当協会では２０１０年度より、協会事業の発展等に貢献された会員に対し、総会イベントにて、その取り組みを公表し、表彰を行っています。



表彰を受ける、賛助会員の（株）相田合同工場様と（株）三条印刷様、正会員の村林様

各種プロジェクト

当協会では、正会員、賛助会員などと関係事業者が協会の PL 対策を理解し、各々の実務で具体的な製品事故予防策に取組むと共に、流通商品とそれに伴う全ての媒体（本体表示、取扱説明書、カタログ、ホームページなど）にて所定の検証プログラムを実施するなど、協会が推進する PL 対策の有効性を示す事例となり、かつ社会的に意義あるプロジェクトと認めたものを「協会プロジェクト」として、理事会承認を経て認定しています。（一般会員は参加できません）

■製品安全対策優良企業表彰応募サポート

経済産業省が実施している製品安全の取り組みを専門家の視点で評価し、改善などのアドバイスを受けられる制度について、ＰＬ対策の研究指導を行っている当協会が全面的にサポートします。
一次審査へのエントリーを無料サポートします。詳しくは協会サイトをご覧ください。

■プロジェクト事例

- 電子入札支援（終了）
- 消防団通信システム（終了）
- 町会自治会ホームページ支援（実施中）
- 大規模商品開発（販売支援）（実施中）
- 早期和解支援事業（ADR）（準備中）
- 2009 大規模商品開発（販売支援）（終了）
- PL 検定（実施中）
- 媒体検証（実施中）
- 保険代理店 IT 化サポート（実施中）
- 製品事故被害者救済に関する支援など

ご寄付のお願い

当協会は、寄付と会費などで運営されていますのでご寄付に是非ご協力ください。
手続き等をご案内している「寄付のお願い（はがき）」を用意しておりますのでお問い合わせください。

銀行振り込み（振込手数料はご負担お願いします）
三菱東京 UFJ 銀行　大山支店　（普通）1702796
口座名義　日本テクニカルデザイナーズ協会　寄付口座

郵便振替口座（郵便局の振替用紙をご利用ください）
口座番号　00140-4-433181
口座名称　NPO 法人日本テクニカルデザイナーズ協会

jtdna 寄付金 検索